

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 4月 1日

事業所名 JYU×JYUステーションかかず（職員4名） 回答率：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			学習室は静かな環境になるよう別室を設けている。	
	2 職員の配置数は適切である	4				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4			現在、利用者に対象者がいないため、とくにありません。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4			今後検討していきたいと考えています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			今年度、外部開催の研修をいくつか参加しました。	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を実施した上、全職員が研修の機会を持てるようにしたいと考えています。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			特に、休日や長期休暇については前もって計画するよう取り組んでいます。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				前年度の反省を踏まえ、週に一度、全体ミーティングの場を設けていますが、密接、密集にならないような対策をしていきたいと考えています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			その日の出来事で情報共有が必要なものに関して振り返りを行うよう、心掛けています。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			記入者が同じ人にならないよう心掛けています。	次年度、計画的に支援の事例検討会等を職員間で研修開催できればと考えています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4				
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			お迎え時、利用者引き渡しの際、先生と直接引継ぎ等を行うよう心掛けている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1			現在、利用者に対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1			前年度の課題として、職員間でどのようなサービスがあるのかを把握していくことが目標であったが、コロナの影響により、実施できていない。次年度、引き続き前年度の課題をクリアしていきたいと考える。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3			今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事等の開催が少なく参加できませんでした。次年度は感染予防対策をした上で参加していきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	3			同上
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			送迎時、その日の様子を伝えるよう心掛けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		今年度、職員間で研修開催予定していたがコロナの状況もあり、開催できず。	今年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ペアトレの活用はできていない。次年度は感染予防対策を考慮した上で、ペアトレ等の支援もできるようにしたいと考える。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			できるだけ、早急に対応していけるよう取り組んでいる。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	1		個人情報に十分注意して開催できるのか心配なため、今後も開催は考えていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			全職員に内容を報告し、早急に対応していけるよう取り組んでいる。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			毎月1回、お便りを発行し、前月の活動の様子や来月の行事予定などを発信している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	4			安全に十分留意し、 施錠できる場所にて 保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	3	1			
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知している	1	2			新たに、新型コロナウイルス感染症等におけるマニ ュアルの作成等が必要になってきたため、次年度作成・ 周知等に取り組んでいきたいと考える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	4			今年度、2回実施ず み。	次年度、前もって保護者にも通知できるよう、取り組 んでいきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載している	2				前年度に引き続き、検討していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている	4				現在、利用者に対象者がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	1	2		会議で共有、事例検 討会を実施しまし た。	研修や会議を行っているが、事例集の作成はしていな い。次年度に向け取り組んでいきたい。